

インドネシアのサプリメント市場の概要

規制と将来の規制における変化

APSKIについて

- 設立: 1998年 ACCSQ TMHS (Traditional Medicine Health Supplement Working Group: 伝統的医薬品とサプリメント作業部会) への参画期間は17年の新記録
- 2015年現在、会員数51
- 2015-2018年期は、理事会社: 16
- インドネシアのサプリメント市場の50%を保持
- AAHSA (Asean Alliance of Health Supplement Association: アセアンサプリメント協会連合体) と IADSA の会員
- 年間100万人以上のインドネシア人を雇用
- サプリメント規制とそのカテゴリーの発展に活動の焦点

インドネシアの代表的な統計数字

- 広大な国土と17,508の島の集積(1,919,317km²)
- 人口の増加:2013年の新生児数810,459人 死亡者数280,535人
- 1人当りのGDP3,797米ドルは2015年には、6,000米ドルに増加
- 人口2億4,000万で、28%以上が生産年齢
- 自然が豊富、伝統的なものと新しいものの両方が存在

インドネシアサプリメント産業の概観

- 12億米ドル産業(1,200億円)
- Health supplementの中で2番目の高い成長率
- 年間15%成長
- 2020年には18億米ドル(1,800億円)の市場
- アセアン経済域の35%に寄与

現在の法規制と製品登録の近況（更新情報）

- ①インドネシア市場で製品分類が最小
- ②長い間現在の法規制は時代遅れで、待ち続けている改定サプリメント規制が期待される

重要な政府当局

- BPOM (Badan Pengawas Obat dan Makanan)
- Kementrian Kesehatan (Ministry of Health: 保健省)
- Kementrian Perdagangan (Ministry of Trade of Goods: 経済産業省)

アセアンハーモニゼーションにおける最終的な立ち位置

- Badan BPOM RI(2016年4月22日)に参加するようにAPSKIに依頼があった。そしてシンガポールでの5月の協議セッションに先立って産業界の見解を発表することになった。
- その見解で、インドネシアは他のアセアン諸国9ヶ国のコミットメント内で作業を継続することを検討する立場をとることを支持すると共に、ハーモニゼーションを支持する。
- BPOMはインプットに同意し、合意の用語に改定することを提唱した。そして枠組み作業状態を立て直すだろう。このことは法的用語が技術的用語により見なされることである。